



まちの話題



出席者を代表して「20歳の誓い」を読み上げた鈴木さん

活発に意見を出し合う参加者たち

未来に向かって挑躍

令和4年度金ケ崎町20歳のつどいは1月8日、中央生涯教育センターで開かれました。対象者235人のうち123人が出席し、20歳の門出を祝いました。式典では鈴木陽斗さんが「仲間と支え助け合いながら、それぞれの目標に向かって努力を続け、成人としての自覚を持ち行動していく」と決意を述べました。式典後は20歳のつどい実行委員会主催で中学時代のスライドショーや恩師との交流が行われ、参加者は旧友との思い出話に花を咲かせ、笑い溢れるひと時を過ごしました。



※「挑躍」は、対象者が金ケ崎中学校時代に掲げたスローガンで、今回のテーマにも設定されている。20歳のつどいの開催にあたり、「これからも挑戦と躍進の気持ちを忘れない」という思いが込められています。

安心安全なまちへ決意新たに

町消防団出初式は1月8日に行われ、団員ら約180人と消防車両が役場前を行進しました。町文化体育館で行われた式典では、各種表彰が行われ、千葉正男団長は訓示で「町民の生命と身体、財産を守り、安心安全の金ケ崎町実現のため、知識や技術の習得に努めてほしい」と話しました。



団旗に敬礼する消防団員の皆さん

講師の話に傾きながら耳を傾ける参加者たち



性の多様性について知識深める

男女共同参画研修会が12月2日、中央生涯教育センターで開かれました。男女共同参画推進委員などを対象に開かれた同研修会。自身も性的少数者であることを公表して活動する加藤麻衣さんを講師に招き、参加者はLGBTQ+などの性的マイノリティを取り巻く現状について学びました。

三ヶ尻地域凧あげ会開催 雪のグラウンドを元気に駆ける

三ヶ尻地域凧あげ会が12月17日、三ヶ尻地区センターグラウンドで行われました。貴重な世代間交流の場として地元有志により開催されて2年目となる同大会。参加した八重柏穂夏ちゃん(6歳)は、「自分で作った凧を今日の凧あげ会で揚げるのができて良かった」と笑顔を見せました。



凧を手に、勢いよくグラウンドを駆け出す参加者

simulationかねがさき2040 町の未来をシミュレーション

青少年育成事業「simulationかねがさき2040」が1月6日、中央生涯教育センターで開かれました。金ケ崎中学校の生徒らが参加し、未来の架空のまちを舞台にまちづくりを体験しました。参加者は話し合いを通じて、まちづくりに必要な政策選択の難しさや相手を理解し話し合いを進める重要性を学びました。眞岩煌くん(金中2年)は「事業は難しかったけど、みんなの意見をどのようにまとめれば納得してもらえるかを考えて取り組めた」と充実した表情を見せました。



感情豊かに朗読し、観客を引き込むキャストの皆さん



朗読劇で物語の世界へ魅了

金ケ崎町民劇場朗読劇が12月11日、中央生涯教育センターで開かれました。新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の演劇から形を変えて朗読劇とした同劇団。駒ヶ岳にまつわる民話「オオカミ石」「守子石」を題材に、紙芝居の絵をスクリーンに映しながら演じ、観客を楽しませました。